

■ 島村抱月 評論家，劇作家，演出家。近代文学評論を確立，初の西洋演劇はじめ新劇指導。松井須磨子と駆落ち早世。

しまむらほうげつ

廃藩置県・・1871＝ 石見国久佐村で砂鉄業を営む家の長男に生まれる。

明治6年政変 1873＝ 2歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1880＝ 9歳：

明治14年政変 1881＝ 10歳：

小学校を優等で卒業するも，家業が破産したため，浜田の病院の薬局生となって医師を志し，毎晩私塾に通って，漢文・英語・数学の独習を続け，

帝国大学始・1886＝ 15歳：この頃，浜田裁判所の給仕から雇書記として働くうち，

検事島村文耕に認められ，

帝国憲法発布 1889＝ 18歳：

帝国議会始・1890＝ 19歳：学資提供を受けて上京，東京専門学校に開設されたばかりの文学科に入学，

足尾鉋毒始・1891＝ 20歳：要望されて島村の養子となった。

坪内逍遙の指導を受け，

大西祝の美学も学んで，

日清戦争始・1894＝ 23歳：卒業，{早稲田文学}の記者・母校の講義録講師となる。

日清戦争終・1895＝ 24歳：島村滝蔵の次女と結婚。*{早稲田文学}上で西鶴や悲劇を論じ，緻密重厚な美学的評論で高山樗牛と評論界に併称される一方，

八幡製鉄始・1897＝ 26歳：後藤宙外らと文芸雑誌{新著月刊}を創刊，次々と浪漫的短編小説を発表して，作家としても注目される。

子規句歌革新 1898＝ 27歳：東京専門学校講師となって教壇に立つ一方，{読売新聞}記者となるが，

Bushidou・・1899＝ 28歳：辞し，{三省堂}を経て，早稲田中学教員となり，

ビブアノ国産化・1900＝ 29歳：同志と評論「風雲集」。

教科書疑獄・1902＝ 31歳：東京専門学校留学生として，イギリス・ドイツに留学。

日露戦争終・1905＝ 34歳：帰国とともに，早大文学部講師(早大では教授職が無く全員講師であった)となる。

満鉄発足・・1906＝ 35歳：*{早稲田文学}を再刊，主宰。逍遙とともに早大の文芸協会を発足させ，演劇指導も始め，

韓国反日暴動 1907＝ 36歳：

アララギ 創刊・1908＝ 37歳：自然主義文学論の代表的著作「文芸上の自然主義」「自然主義の価値」，

伊藤博文暗殺 1909＝ 38歳：「近代文芸之研究」など，門下と自然主義論を展開，近代評論確立の功は大きい。

韓国併合・・1910＝ 39歳：イブセン「人形の家」を翻訳し，

大逆事件判決 1911＝ 40歳：戯曲「運命の丘」「清盛と仏御前」。文芸協会研究所第1回試演会で「人形の家」初演で，女優松井須磨子のノラが好評となるとともに，愛し合うようになり，

明治天皇没・1912＝ 41歳：戯曲「競争」，翻訳スーダーマン「故郷」。須磨子との恋愛と逍遙との違和から家庭と母校に決別。

大正政変・・1913＝ 42歳：翻訳メーテルリンク「モンナ=ワフナ」。*文芸協会も解散になると，須磨子とともに{芸術座}をおこす。

第一次大戦始 1914＝ 43歳：「カチューシャの歌」の劇中歌で知られる「復活」など，近代劇の大衆への普及に努めたが，

民本主義・・1916＝ 45歳：

本格政党内閣 1918＝ 47歳：流行性感冒から肺炎となって，没した。